NOMA
NIPPON OMNI-MANAGEMENT ASSOCIATION

回　覧			

日経東発第60014686号
令和2年4月15日

固定資産税課長
資 産 税 課 長
課　税　課　長
税　務　課　長　殿
税　制　課　長
県(市)税事務所長

一般社団法人 日本経営協会
理事長　岡島　芳明

NOMA行政管理講座開催（ご案内）

木造家屋の評価の基本（演習）

～新任担当者が一番はじめに評価計算を学べる講座！～

＜令和２年７月９日(木)・１０日(金)＞

拝啓　時下ますますご清栄のこととお喜び申しあげます。
本会事業活動には、平素より格別のご支援ご協力を賜り厚くお礼申しあげます。
固定資産税は、土地、家屋及び償却資産に対し原則その価格を課税標準として、その所有者に課せられるものです。課税標準の基礎である価格は適正な時価であるとされ、固定資産評価基準によって納税者に税負担を求める基礎となる評価額を決定するものであり、適正、公平な評価計算をしなければなりません。
しかし、家屋評価については、評価計算が複雑かつ理解しづらく評価額の算出誤りも多々起こります。また、特殊な状況に関しては、自治体内部の者だけでなく納税者に対して説明責任を果たすことが最低限の理解と信頼を得ることにつながります。
そこで本講座では、家屋評価の仕組み、事例家屋の評価計算を解りやすく解説いたします。また、令和３基準年度は評価替えです。固定資産課台帳に登録された価格によって起こりうる「審査申出」についても解説いたします。
公務ご多忙の折とは存じますが、この機会に関係者多数のご参加をおすすめ申しあげます。　敬　具

講座のねらい

～ 事例で学ぶ家屋評価演習 ～
- ●短時間で、木造家屋の仕組みについて要点をしっかり解説します。
- ●平面図、立面図、矩計図、仕上表により拾い出しをします。
- ●事例家屋の評点付設、補正計算をシステムでない手計算にて算出します。
- ●納税者への説明責任を果たす力をつけ、評価計算が出来るよう解説します。
- ●令和３基準年度の変更事項（案）について解説します。

記

（12:00から受付）

日　　時：令和2年7月 9 日(木) 13:00 ～ 17:00
　　7月10日(金)　9:30 ～ 16:30

講　　師：税理士　　小川　正己氏

会　　場：日本経営協会内専用教室
（東京都渋谷区千駄ヶ谷 3-11-8）

参 加 料：会員(1 名)　29, 000 円
（負担金）　消費税　2, 900 円　} 31,900 円
一般(1 名)　32, 000 円
消費税　3, 200 円　} 35,200 円

〈会場案内図〉

申込方法：①ＦＡＸまたは郵送申込…裏面申込書に必要事項をご記入の上、下記へお送り下さい。
②Ｗｅｂ申込…本会ホームページ上の「セミナーお申込ボタン」を押し、必要事項をご入力下さい。
・受付次第、参加券および請求書をご連絡担当者宛にお送りいたします。
・開催３営業日前までに参加券が届かない場合は、お手数ですがご連絡下さい。
・お申込みは開催日の３営業日前までにお願いいたします。
・本講座は、定員になり次第締め切らせていただきます。

入金方法：参加料は、請求書にもとづき銀行振込にてお納め下さい。領収書は「振込金受領書」をもってかえさせていただきますのでご了承下さい。

キャンセル：お申し込み後、キャンセルされる場合は必ず事前（３営業日前まで）にご連絡下さい。
開催日の３営業日前～前日のキャンセルは受講料の 30%、開催当日のキャンセルは 100%をキャンセル料として申し受けます。
なお、当日までに連絡なくご欠席の場合も、100%のキャンセル料となりますので、あらかじめご了承下さい。

そ の 他：参加者が少数の場合、天災の場合などにおいては、中止・延期させていただく場合があります。

お申込み
お問合せ先
一般社団法人 日本経営協会
（お電話でのお問合せは平日の月曜日～金曜日の9:15～17:15にお願いします）
東京本部　公務研修グループ
〒151-8538　東京都渋谷区千駄ケ谷3−11−8
TEL(03)3403−1891(直)　FAX(03)3403−1130
E-mail:tks@noma.or.jp　URL http://www.noma.or.jp

NOMA
NIPPON OMNI-MANAGEMENT ASSOCIATION

★WEBからもお申込みできます！

http://www.noma.or.jp/seminar/tabid/138/Default.aspx　NOMA　講　座　検索

▶プログラム◀

Ⅰ　部分別の解説　＜屋根～その他工事まで＞

1．屋根（和小屋組、洋小屋組について）
2．基礎（基礎工事の種類について）
3．外壁（平面の形状、開口部の多少について）
4．柱・壁体について
5．内壁
（間仕切りの多少と基礎の関係､開口部の多少について）
6．天井（天井の種類について）
7．床（床組・床仕上について）
8．建具（標準量および上・中・並の判定）
9．建築設備
（総合評点方式の比例計算及び項目別評点方式について）
10．建築設備（加算評点項目）
①　電気設備
②　給水・給湯設備
③　衛生設備
④　冷暖房設備
ア　空調設備（ビルトイン方式）　イ　床暖房設備
⑤　換気設備
⑥　運搬設備
11．仮設工事
12．その他工事
①　雑工事（部分別「屋根」から「建築設備」まで）
②　階段（階段部分の床面積の算定）
③　バルコニー
（跳ね出し・ルーフ・跳ね出しとルーフのもの）
④　床間

Ⅱ　令和３基準年度の変更点（案）

1．外壁仕上
2．柱・壁体
3．内壁仕上（項目別評点方式・総合評点方式）
4．天井仕上（　　〃　　）
5．床仕上　（　　〃　　）
6．建築設備（加算評点項目・洗濯流し、汚物流し）
7．換気設備（住宅用）

Ⅲ　補正計算の必要性

1．比例計算？
2．基礎の補正に関連する部分別は何か？
3．各部分別の項目別補正項目の補正計算は？
4．スイッチ、コンセント、照明器具の数え方
5．給水・給湯管と使用栓の数え方？
6．その他

Ⅳ　審査申出について

Ⅴ　評価演習（木造家屋専用住宅）
平面図、立面図、矩計図及び仕上表により一棟の再建築費評点数の算出

Ⅵ　事例研究
（新築された住宅に対する固定資産税の減額について）

持参物

①電卓
②平成30基準年度 単位当たり標準評点数の積算基礎
（固定資産税務研究会編／地方財務協会刊）
③平成30基準年度 固定資産（家屋）評価基準・再建築費評点基準表
（固定資産税務研究会編／地方財務協会刊）
④三角スケール

講師紹介

税理士　小川　正己　氏
2005年　東京都退職
同年　小川正己税理士事務所開設

【木造家屋・非木造家屋等の評価演習】講座開催案内

９月23日・24日	やさしい非木造家屋の評価基礎実務演習・不明確計算（初級）
９月25日	軽量鉄骨造（居宅）ハウスメーカー建物の評価
10月26日・27日	小規模非木造家屋の評価演習
11月18日・19日	第Ⅰ部　非木造家屋の評価演習（明確計算編）
11月20日	第Ⅱ部　区分所有家屋の区分計算演習
12月７日・８日	家屋評価実務（見積書分析）

合わせての受講で理解が深まります！

講座申込み：ＦＡＸ（03）3403-1130

60014686　『木造家屋の評価の基本（演習）』参加申込書

※NOMA記入

令和2年7月9日～10日　□会員　□一般（該当欄にレ印）

役所名		電　話	（　　）　内線			＜ご連絡担当者＞
		ＦＡＸ	（　　）			所属
所在地	〒					フリガナ 氏名
フリガナ 参加者氏名		所属部課 役職名		経験年数	年 ケ月	メールアドレス
フリガナ 参加者氏名		所属部課 役職名		経験年数	年 ケ月	＜通信欄＞
フリガナ 参加者氏名		所属部課 役職名		経験年数	年 ケ月	

申込書にご記入いただいた情報は、以下の目的に使用させていただきます。
①参加券・請求書の発送および参加者名簿の作成などの事務処理　②本会主催のセミナー、展示会、通信教育などのご案内
②がご不要の場合は□にチェックしてください。―― □不要

（経験年数は、現在の部課での年数をご記入ください）